



小山乃里子の
華麗なる男のインタビュー

■第29回■

長島 隆 △神戸地下街副社長▽

神戸市民の手で 造り上げた記念碑

者を挙げていたら、みんな自分の最良ばかり言う(笑)これは100人挙げて50人挙げても収拾がつかない、というわけで、淀川長治さんに一任して40名決めてもらった。ですから、今の若い人が知らない名前がたくさんあるんじゃないですか。

ノコ そうでしょうね。資金集めの方は？

長島 映画館で、ファンの人たちが募金したものや、淀川さんが寄付して下さった100万円がベースだったけれども、大体全部で二千万ぐらいかかるということで、石40個だから、単純に1個50万で売ろうということになったノコ そうだったんですか。

長島 それも僕は神戸の土地柄、それと映画、メリケンパークという場所、美男・美女の名前が並んでいるので、いわゆる「神戸っ子のお店」にやってもらおうと思った。ファッション、洋菓子、本当に神戸の企業だけに絞りました。だから、全部本拠地が神戸の会社になりましたね。ところが、スポンサーが決まると、今度は役者の争奪がありましてね(笑)

ノコ 争奪?!(笑)

長島 どのスターストーンがごこの提供かというのは、屏風ぐらいの大きな一枚の銅板、メモリーストーンに刻み込むので、石の数もあんまり増やせなかったけど。ノコ いっぱいい人に来てもらわないといけませんね。

開港120年祭という市のイベントの中で、市民が造り上げた、映画発祥の地の記念碑が完成した。今月は、仕掛人の一人である長島さんが愛する映画、ブータンへの思いのほんのさわりをご披露します。

★映画の記念碑を新しいパフォーマンスの場に

ノコ メリケンパークも、夏までいろんな催し物が続きますね。

長島 あそこも楽しく、いい場所になるでしょう。

ノコ 本来の映画発祥の地というのは花隈なんですよ。長島 花隈の神港倶楽部なんだけど、場所が歩道だけだから、柱一本建てることしかできない。それでメリケンパークならば、今から造る場所だから、自由に出来る、ということ、ポートアイランドなどにも、いいものを造っている環境造形Qに映画発祥の地の記念碑を造ってもらうことにした。

ノコ あの、石をくり抜いてのスクリーンというのはおもしろいですね。

長島 僕らも、ああいうものが出来るとは思わなかった。これから、あれを舞台にして、いわゆるパフォーマンスが演られるんじゃないかという気がしますね。そういう意味では、いい作品を創ってくれたと思いますね。

ノコ 石に刻む俳優さんは、どうやって選んだんですか。長島 最初、映画の記念碑を建てる会のメンバーで候補



僕の青春時代はジャン・ギャバンとともにあった。

長島 今の組織は、記念碑を建てるための組織だから、除幕式が終わったら解散しようと思っているんです。もし、ここを舞台に、映画ファンが何かやりたいのなら、例えば、神戸の市民だけでグループを作って、その年に最高の演技をした新人の女優さんを表彰するとか、というような話もあるから、そういう会を作っていいんじゃないと思う。若い人が考えたら、まあ、われわれが想像出来ないような使い方があるんじゃないかな。

ノコ 長島さんご自身は、どなたがお好きだったんですか？

長島 ジャン・ギャバン。僕ら、ジャン・ギャバンの青春時代とともに歩んでるから印象深い。淀川さんは、若い頃にメリケン波止場に、チャップリンのインタビュに來られたことがあって、淀川さんはチャップリンのスターストーン提供者なんです。

ノコ 淀川さんもまだまだお元気ですから、何回も神戸に來て頂いて、このスクリーンから顔を出してしゃべっていただくといいですね。

★ブータンの人はシャイで、物静か
ノコ 長島さんはブータン協会の会長もされているんですよ。

長島 まあ、これも、神戸の人には多いけど、山登りをするのが好きだ、というのがきっかけやね。

ノコ ブータンにも映画会社というのはあるんですか。

長島 ない。上映館は、首都に一軒だけある。おそらくインドの映画を上映していると思う。ものすごい人やね終戦直後の列車みたいに窓枠から人がぶら下がっているノコ テレビ局はあるんですよ。

長島 ない。

ノコ テレビもないんですか!!

長島 やっと最近ラジオ局が首都の近辺に放送を始めた。それも一日に何時間かだけ流す程度やね。

ノコ そうなんですか。

長島 だから、そういう物質文明ということで見れば、明治10年ぐらいかな。貨幣そのものが通用しはじめたのが、この10年ぐらいだから。

ノコ エッ。

長島 まったくの自給自足だからね。

ノコ あ、物々交換ですか。

長島 必要があればね。それもほとんどない。着る物も家も履く物もなんでも自分で作ってしまう。90%以上が農民だから、自分でやるからお金もいらなかった。それに鎖国だったから、外国人も行かなかったし。

ノコ 今度はいつ行かれるんですか。

長島 29日、映画の記念碑の除幕式をやってそのあとブータンに12日間行く。(笑)

ノコ エライ、忙しいですね。

でも、いいなあ、私も行きたくてしょうがないんです。

長島 今度は、消防車、救急車、ミシンをブータンに持って行って、消防車の放水のデモンストレーションをして、向こうの人にも使い方を教えないかん。だ

から神戸市の消防局で山登りの仲間が、自費で行って



いま、座っているのはジェームス・ディーンの名石だよ

ノコ どう入るわけですか。

長島 カルカタからセスナが飛んでくるから、1時間20分で直接ブータンに入れる。ただ、19人しか乗れないので、今回の一行の25名で乗れない人は、国内便でインドの北の端へ行って、そこからジープで2日ばかりで入る

ノコ ヘー、2日ばかり。

長島 断崖絶壁を縫いながら、ガタガタ、ジープに揺られて行く。ブタンの一番インド側は、海拔100mから200m。トラもおるし、ヘビもおる。そこから急激に上がって、チベットの国境は6kmから7kmの山。町のあるところが海拔2kmぐらいいだから、走ると息が切れる。

ノコ 私も、一カ月ぐらいいどこかに行きたいなあ、と思うんですけどね。インドがいいって若い人も多いですしね。

長島 まあ、まさに好き好きやと僕は思うね。インドの人は目が大きくて鼻立ちがすっきりしてるけど、一歩ブータンに入ると、我々のような蒙古系の顔で、氣質もシヤイで、物静か。一歩入るだけで、人間、こんなに違うものかと思うほど、インドとブータンは対照的やね。

ノコ ブータンの言葉は。

長島 チベットと共通。ちよつと勉強出来る人は、みんな英語を流暢にしゃべる。小学校の頃からお経とか国歌の時間は、お国の言葉でやるけれども、地理とか算数とかは英語で教えるから、非常に流暢です。

ノコ 2カ国語できるんだ。

長島 ただ、ああいう所がむづかしいな、と思うのは国が小さくて、人口が少ないから、いわゆる近代化というのをやると、メチャクチャになってしまう。あそここの国王が偉いんだと思う。とにかく近代化は図るけれども伝統は捨てたくない。時間かけても、回り道してでもじっくりやろうという方針だからね。

ノコ 気候はどうなんですか。

長島 気温が低いね。冬はマイナス15度くらい。初めて行った時は11月で、日本の秋みたいだね。空の色が濃いね。青空がきれいな所だ。

ノコの一書 とてもすぐきな映画記念碑がメリケンパークにできたものだ。淀川さんのお務めもさることながら、長島さんのお力添えも大変なものだったにちがいない。本当はもっとブータンの話を聞きたかったんだ。そのうち連れて行ってもらう。

★神戸の集いから

★合言葉は「あなたの善意を赤十字に」

日本赤十字社救急普及会の20周年記念パーティが、3月8日、神戸のグリーンヒルホテルで開催された。

午前10時半からの定例総会に続いて、記念式典が行われ、設立当初から日赤の指導に当たっている村田美智子さんが「愛情を持って普及に努めて下さい」と講演。

その後のパーティには、会長の鈴木勇、委員長の上井芳子、事務局長の片島幸雄、事業課長の八島敏夫、普及課長の酒居昭夫さんらを初め、普及員のメンバーら約200人が集まり、これからの一層の活動を誓って、



20年の歩みをふりかえりながら乾杯

乾杯した。

★世界各国との相互理解をめざして
学会、経済、文化、市民



世界の宗教者による「平和の祈り」

の各界の第一人者が集う「神戸国際まつり」が3月27日(金)、貿易センタービルで開かれた。日本の市場開放、輸入促進を国民一人一人が意識する「ことを目的とし、第一部では関西大学教授、山本繁純氏が講演。続いて第二部では実行委員長の水塚喜八郎氏のあいさつに始まり、グローバルズ市民運動憲章、輸入促進フォーラム宣言が発表された。また世界の宗教者たちによる平和の祈りが捧げられ、アトラクションに韓国舞踊やスイスのヨーデル等も披露され、神戸らし

い国際色豊かな集会となった。

★貴方と私の
「ヒゲ」に乾杯!

「ヒゲに市民権を」と発足した神戸インターナショナル・ヒゲクラブが、5周年を迎え、3月14日(土)、神戸三宮シネマ座で記念パーティを開いた。

口ヒゲから、満面のヒゲまで、ありとあらゆるヒゲ面が集まり、会場は熱気ムンムン。ヒゲ歴20年の神戸女学院大学学長山口光嗣さんの乾杯でパーティは開始。だんだんと理解者が増えて来たとはいえ、まだまだ日本の社会ではヒゲは日陰者。会員の中には、ヒゲのために退社した者も。



ヒゲは男臭さのシンボルだ、

「ヒゲこそ男の闘争宣言だ」と、集まった会員は氣勢を上げた。

★音楽と直接のハーモニイ



メニューイン御夫妻を囲んで

世紀の大ヴァイオリニスト、ユーディ・メニューイン氏が70才を迎え、神戸の田崎真珠(田崎俊作社長)が日本でのコンサート企画神戸では3月13日夜に田崎ホールで演奏。その後、

ボートピアホテルで、メニューインご夫妻を迎えてのレセプションが開かれた。「芸術もビジョンを持って進まねばならない。真珠と音楽のハーモニイは、エレガンシーを表現出来ていい企画だった」と、70才とは思えぬ迫力と若々しいメニューイン氏。田崎真珠の音楽留学生なども演奏するなど田崎社長も大喜びだった

■「神戸七福神会」発足

港神宝船！

KOBE
七福神 めぐり
5月スタート



(後列左より) 望月美佐さん、永岡大純住職、伊藤浄厳貫主、井上仁性住職、藤原正克さん、中西勝画伯
(前列左より) 加藤隆久宮司、吉田智朗宮司、小池義人管長

本誌4月号で掲載されて、神戸の各界で話題を呼んだ「神戸七福神会」が、いよいよ発足することになり、それに先立って、4月1日(水)、生田神社会館にて、新聞・雑誌等の報道関係者を集めて、記者会見が行われた。

当日は、「神戸七福神会」のメンバーである、須磨寺小池義人管長(福祿寿尊)、長田神社津田信基宮司(恵比須神)、湊川神社吉田智朗宮司(毘沙門天)、生田神社加藤隆久宮司(弁財天)、大龍寺井上仁性住職(大黒天)、天上寺伊藤浄厳貫主(布袋尊)、念仏寺永岡大純住職(寿老人)。そして、七福神の絵を描いた中西勝画伯、七福神の文字を書いた望月美佐さんが出席した。

七福神を巡ることにより、人々に福がもたらされる。また、七社寺が、神戸の各地に散在しているため、社寺を巡ることによって、神戸の観光やレジャーの開発もでき、年間30万人の動員をめざしている。

「神戸七福神会」は、5月下旬に予定されているパーティーより正式に発足。七福神巡りグッズ等も作られる。七福神巡りは、この日からスタート。また、「神戸七福神会」を後援するための奉賛会も設置することによってハッピーな神戸っ子ライフをという。

話題のひろば

<II>

■モードオリオン竣工披露パーティ ファッショントウン 進出は新しい飛翔



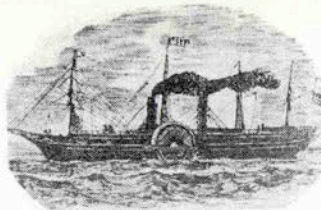
写真上右よりあいさつを述べる清水由民モードオリオン社長、春名和雄丸紅社長、宮崎辰雄神戸市長、石野信一神戸商工会議所会頭、鬼塚喜八郎KFT協議会理事長、木口衛神ワールド会長、下右より木口会長の音頭で乾杯、会場風景

ポートアイランドのファッショントウンで竣工ラッシュが続いているが、二十二番目に新社屋を竣工させたのは、株式会社モードオリオン（清水由民取締役社長）。そのお披露目が四月九日、新社屋で行われ、引き続きレセプションが神戸ポートピアホテル借楽の間に於て催された。

「一階のショールームスペースには若い人達に人気の高い品物を展示し、さまざまな試みを通じていささかなりとも業界の発展に努力したい」との清水由民社長のあいさつに続き、提携会社の丸紅社長、春名和雄氏のメッセージ、また宮崎辰雄神戸市長は「ファッションは情報が大切で、丸紅と提携した事はすばらしい。情報力を大いに活用され、神戸の繁栄につながりますよう」との祝辞を、石野商工会議所会頭も「丸紅の情報力を神戸全体に広げ、神戸経済界の発展にもご努力をお願いしたい」と述べた。

さらに鬼塚喜八郎アシックス社長のあいさつと続き木口衛神ワールド会長の音頭で乾杯となり、会長に集った約八百人の関係者が、モードオリオン竣工を祝った。なお新社屋への移転は、五月初旬が予定されている。

■モードオリオン新社屋／神戸市中央区港島中町6-4-2 電話078-3303128 90(代)



'87世界の酒祭り I LIKE KOBE JAZZ!

4月7日(火)神戸三ノ宮サン
ボーホールにて『'87世界の酒祭
り』が開催された。

当日は、政界・文化界を問わず
各界より約700名の人々が、雨天に
もかわらず参加。

『酒祭り』恒例の、第16回ブル
ームール賞受賞式その他、本年が神
戸港開港120年ということもあり、
ジャズの生演奏が行われ、『酒祭
り』を盛り上げた。

その『酒祭り』の感想を4人の
方に伺った。



(写真左) 談笑する筆者
神戸市婦人団体協議会

会長 土井 芳子

酒まつりに参加して

土井 芳子

酒まつりに参加して、年ごとに
参加する人達がふえ、サンボーホ
ール二階の広い場所にあふれかえ
る感じで、びっくりしてしまいま
した。

月刊神戸っ子は小泉様御兄妹
が、楽しいアイデアを次々お出し
になって、集る人々に大きな喜び
を与えておられることにいつも感
心しているのです。

お顔なじみの方々も多く、みな
楽しそうに、飲み、食べ、話し

て時のたつことも忘れておられる
うでした。

こうした楽しい会が、来年も、
さ来年も、ずっと続きますように
そして私も参加させて頂ける事を
願っております。

ありがとうございました。



(写真中央) 受賞者を
代表して挨拶する筆者
神戸山手女子中・高校

校長 中西 寛

酒まつり初体験の記

中西 寛

第十六回ブルームール賞音楽部
門を受賞し、その表彰式があるとい
うことでおおきなびっくり酒ま
つりの会場へ初めて足を踏み入れ
ました。まず驚かされたのは集ま
って来られた人数の多さです。そ
の大勢の方たちがまさに入り乱れ
て酒飲み交わし歓談されている様
子は実に壮観、さすが神戸の名物
「酒まつり」だけのことはあると
感心させられました。協賛されて
いる各種企業・団体・グループの
こういう交歓のしかたも月刊神戸
っ子のすばらしいアイデアという
ほかはありません。ただ全体の照
明をもう少し明るくする方がいい
のではないかと思います。とも
あれ楽しいひとときでした。





舞台上立った井上住職
大龍寺（大黒天）

住職 井上 仁性

「月刊神戸っ子」26周年、おめでとうございます。

26周年を記念しての「世界の酒まつり」に参加させて頂き、大変に楽しい一時を過ごせたことを喜んでおります。

実は、「酒まつり」に参加するのは、これが初めてではありません。昭和58年に、娘の井上和世が「ブルーメール賞」の音楽部門を受賞させて頂いた時に、参加させて頂きましたので、4年ぶりということになります。

その時と比べまして、非常に豪華絢爛。内容もバラエティーに富み、非常に充実したように感じました。また、参加されたお客様も数倍になっているのではないのでしょうか。

個人的な話になりますが、以前私はライオンズクラブに加入しておりましたのですが、「酒まつり」に、ライオンズの面々が多数来られており、非常に懐かしく思いました。

そして、特別に神戸七福神が登場して、拍手と歓迎の声を受け、痛快の極みとともに、神戸七福神の発展は疑いなし。と確信いたしました。



三菱ポートピアプラザ丸前にて
三菱地所株式会社 大阪支店

営業課 佐々木 真

先ずは、「神戸っ子」26周年お目出度うございます。これを記念しての「世界の酒まつり」これもひとえに主催者の酒好きのなせる業（失礼）と思いつつ、パーティー会場に足を運ぶとこれまで大勢の酒好きが（……）。やはり神戸というところ、子供の時から酒蔵にかこまれて育つ好環境のせいだと勝手に解釈しつつ、あつという間の楽しいひとときでした。

世にいろいろと「縁」がありますが、これは、お酒がとりもつ盛大なる縁会（宴会）では……。

早くも来年の開催を心待ちにしております。

これからも「神戸っ子」ますますの発展と「世界の酒まつり」が、30周年、40周年を向かえますように、お祈りいたします。

I LIKE KOBE JAZZ!

以上、千人の方々から、「87世界の酒まつり」の感想を頂きました。本年は、前述の通り、開港120年ということで、ジャズをメインテーマに、数々のショーが繰り広げられた。

司会はおなじみの西澤暉氏と小山乃里子さんの名コンビ。演奏は大内正義とラフィングジャズオーケストラ。

例年通り、第16回ブルーメール賞表彰式。酒まつり乾杯等が行われたが、今年の特徴は、何と言っても「神戸七福神」の登場。本誌4月号で既報の通り、生田神社、須磨寺等の、神戸の七社寺が揃いぶみ。七福神を乗せた宝船が「神戸っ子」にやって来た。

お酒は、今年協賛いただいた白鶴、白鹿、澤之鶴、金盃、大関、サントリー、アサヒビール、キリンビール、ニッカウイスキー、キッコーマンの10社からそれぞれ贈られた。

会は、恒例の酒徒番付発表。キヤンディ浅田、秋満義孝、ロイヤルフラッシュジャズバンドの演奏の後、酒亭紹介、酒亭対抗ビール早飲み競争、神戸市内の約100社から協賛頂いたチャリティー福引が行われ、ファイナルのダンスタイムで大盛況の内、閉会した。





“ふれあい”の入口。手づくりの作品も売っています

「喫茶ふれあい」は他の四三店と並んでキャンパス・スクエアの一階にある。広さ七坪、客席一六のこじんまりとした店内は、私が訪ねた時は、この日卒業式を終えた神戸市立外国語大学の若い青年男女で埋まっていた。

そして偶然にもこのコーヒーショップはちょうど一年前の今日、ちえ遅れの人たちの職場開拓と社会適応訓練の場の一つとしてオープンしたのであった。

新しい試みとしてこの店を開設したのは神戸市内や県下に身体障害者や精神薄弱者の施設を営営している社会福祉法人「神戸聖隷福祉事業団」で、オープンした時から精神薄弱者通所授産施設である神戸聖生園（金附洋一郎園長）の卒園生渡辺雅子さん（36）と神戸市立青陽高等養護学校を卒業した宮本匡子さんの秋から店員として働いており、昨年の秋から松浦かずみさん（21）も加わり、現在三人のハンディをもった女性が毎日忙しく働いている。金附さんの妻久美さんと、以前聖生園で働いていた中野加恵子さんの二人が三人の指導や手助けをしているが、接客業であるだけに「お客さんは一人一人みなちがうので、失礼のないように気を利かせることを大切に教えています」と金附さんはいう。

開店は朝10時で閉店は夜の8時。5人が早出と遅出のローテーションを組み、お湯を沸かししたり洗いのをしたり、お客の注文を聞いたり、代金

三月二十八日。土曜日の午後。地下鉄の学園都市駅のキャンパス・スクエアの中にある「喫茶ふれあい」を訪ねた。キャンパス・スクエア開設一周年記念セール中で、春休みでもあり、この日の午後は新人歌手西村知美のコンサートもあつてか、ショッピング街は若い人たちや家族連れで大変な人出だった。



須磨区友が丘にある神戸聖生園

★神戸を福祉の街に〈161〉

“喫茶ふれあい”

この一年のこころみ



橋本 明

〈社団法人家庭養護促進協会事務局長〉

そして偶然にもこのコーヒーショップはちょうど一年前の今日、ちえ遅れの人たちの職場開拓と社会適応訓練の場の一つとしてオープンしたのであった。

の計算や帳簿をつけたりする。注文票を見せてもらうと、少し大きめの紙に約三〇種類のメニューの名前と値段が一つ一つわかりやすく書いてある。「もう少し手のこんだメニューもそろえればもっと売上げも増えるんですが、憶えやすい簡単なメニューの方が間違えないので、このままにしています。借金はまだ返せませんが赤字は出していませんよ」と金附さんは笑う。給料は月に一人七五、〇〇〇円。みな社会保険にも入っている。

お客さんの数は一日平均80人程。口コミでこの店のことを聞いて、身内に障害者のいる人たちも来てくれるが、ほとんどのお客はキャンパス・スクエアにショッピングにやってくる人や学生で、この店の店員がハンディをもった人たちだとは気づかない。

カウンターの隅に「ふれあいノート」が置いて

ある。ここを訪れたお客が自由に書きつづったノートだ。

「イライラした時はここに来て気持ちをすずめて、明日からは少しはいい人になれそうな気分になって帰るのです」

「ふれあいのコーヒースタンドは大変うまいです。またサービスもよいので好きです」

「はじめてふれあいに来て以来、ジュースのおいしさにやみつきになりました」

いろんな意見や感想がいっぱい書いてある。子どもからお年寄り、そして車イスのお客までと常連やファンも多い。店の前のショーウィンドウには、七宝、はたおり、ダンカン焼、カードなどの障害者の手になる作品が展示され、販売されている。この一年間に二千人を超える人たちがこの店を訪れた計算になるが、その多くの人たちが、何かを感じ、考えて帰ったかもしれない。

かもしれない。

聖花園の金附洋一郎園長は「障害者が社会で働くことは大変厳しいのが現実です。こういうサービス業は全国でもまだほんの少ししか例がありませんが、新しい試みとして取りこんでいきたい」と考えている。

こんな新しい試みがつともっと地域の中で実践され、定着していったほしいものだ。

★喫茶ふれあい

TEL(七九三)五八七七



上/店内は若い人達でいっぱい。下/右から金附、渡辺、松浦、宮本、中野のみなさん

準デザイン大賞受賞作▶

◀▼ 2作品ともデザイン大賞受賞作。左は、上着をとるとノースリーブスタイル。下は、上下セパレートタイプで、パンツスタイルにもなる。



神戸市長賞受賞作▶



☆有馬歳時記☆ 湯けむりに舞う浴衣あで姿

「これが浴衣?」とびっくりするデザインが続々。3月22日、兵庫向陽閣で行われた「YUKATA IN 有馬」(有馬温泉観光協会青年部主催)では、全国から応募のあった七百点余りの浴衣デザインから一次審査通過作32点がファッションショー形式で紹介され最終的に9名(11作品)にデザイン大賞他各賞が贈られた。

結婚式場を完備しています



伝統と格式を誇る

兵庫

向陽閣

景勝高台の近代旅館

TEL (078) 904-0501代

欽山は典雅な
日本風の館です

国際観光旅館



欽山

TEL (078) 904-0701代

敷地内から湧き出る
日本最古の温泉“有馬温泉”

阪急ホテルチェーン

有馬ビューホテル

TEL (078) 904-2295代

温泉と演芸と遊技場

有馬ヘルスセンター

TEL (078) 904-2291

雅ただようくつろぎの館

中の坊瑞苑

TEL (078) 904-0781

会議セミナーから御家族づれまで

有馬グランドホテル

TEL (078) 904-0181

▼最終審査に残った作品の中には、実用性という点では難があっても、デザイン的には斬新な作品が幾つかあった。審査員からは、旅館でレンタル浴衣として着てもらったらどうかとのコメントもあった。“見る”側にとっては楽しい作品だ。



▲ハロー／神戸賞受賞作



▲神戸国際観光協会賞受賞作

◀湯けむり賞受賞作

有馬の歴史を語り続ける「いで湯の宿」

銀水荘

別館 楽山

TEL (078) 904-0622

別館 **光楽**

TEL (078) 904-3656

静寂さにつつまれた
くつろぎの宿

国際観光旅館

陵楓閣

TEL (078) 904-0675

TELEX 5627-115

テニスでいい汗
いい湯にとっぶり
味に集う



TEL (078) 903-1024

木造りの宿



TEL (078) 904-0551

自然の恵みを
湯けむりに伝える

政府登録国際観光旅館

古泉閣

TEL (078) 904-0731

☆出会いの旅

かん(観)・かん(感)
かん・関・韓初田 寿
初田美術研究所代表者

三月四日、十五時四十分、大阪空港発、一時間二十分のフライトで雨上りの金浦空港に無事着陸。

親韓派で知られる元町画廊社長佐藤廉氏と同行の今回の訪韓には二つの目的があった。

昨秋佐藤氏の紹介で知り合った韓国の現代作家、全氏夫妻を中心とする作家グループと、神戸に制作の場を持つ作家と神戸出身で東京に制作の場を持つ作家により三年前に結成した、グループ「かん(観)・かん(感)・かん(関)」(昨年は9月にさんちかホール、11月東京世田谷美術館で発表、元町画廊後援)が交流展を開催しようと言う事になり、実現へ向け話しを詰めるため。一つは昨年よりお手伝いをしている兵庫県日韓親善協会と、韓国の韓日親善協会ソウル特別市連合会との姉妹結縁式(三月六日ソウルで開催)に理事として参列、その後、各地を親善訪問する事である。

出不精の私、訪韓は初めてである。最近、非常な勢いで経済成長をしている韓国。大陸文化を我国に伝えた韓国にも興味がある。

入国手続、税関チェック(この時8ミリビデオをチェックされ、出国時必ず持ち出ると指導される。聞くところによると、自国製品を愛用させるため、これ等の製品には二百パーセントの関税が掛けられるのとこと、マナーチェンジ(二万円―五万六千ウォン)、全氏夫妻、表画廊オーナー表美仙さん(今春訪日された際、

元町画廊で知り合う)、神戸二紀会ソウル支部のメンバーの出迎えを受け、兵庫県日韓親善協会訪韓団より二日早くソウル入り、二日間の行動開始である。

表さんの案内で、韓国の美術事情を見て回ることにした。表画廊のあるCHONGRO・KUは画廊街で、現代画廊を始め多くの画廊がある。扱っている作品は大別すると、東洋画(韓国に古くからある水墨に彩色をしたもの―民画)具象油画、現代美術の三つに分けられる。この内で、現代美術はなかなかハイレベルだ。三十才台、四十才台の作家の作品が並べられている。日本の作家の作品と比較すると、韓国の風土から来るのか骨太で、熱気を孕んで力強い。満ち足りた島国の経済大国日本、人民が目的を失いひ弱になっていくのに対し、大陸続きであること、イデオロギーを異にする北朝鮮との緊張感からくる国民意識、経済発展からくる自信、厳しい自然の中で生活し続けて来た忍耐強さ、そして現代美術のよき指導者(現代美術作家で弘益大学々長の朴栖甫先生)等が相乗して、制作エネルギーとなっているのではないかと感じた。

表さんの尽力を得て、全さん始め素晴らしいメンバーも決定、今秋韓国作家十五名を招待し、さんちかホール、ギャラリさんちか、アベニューコーベで神戸市秋の芸術祭参加、(神戸市共催、元町画廊、表画廊、兵庫県民団等の後援)で、グループ「かん(観)・かん(感)・か





右、慶州仏國寺前にて/左、表画廊にて。(上)左上から表美仏さん、筆者、左下から朴柄甫さん、佐藤慶さん。
(下)全さんと話し合い。

ん(関)・韓」展を開催する運びとなりました。

六日午後六時半、朝鮮ホテル出発、ソウル一の高層ビル六三ビル宴会場で開かれる姉妹結縁式に向う。神戸からの長旅の疲れも見せず、上田将雄会長(八十四才)、中井一夫顧問(九十八才)、副会長小池義人御夫妻、望月美佐氏、皆晴々とした顔々々。我々の意識としては民間団体の結縁式であるのに、韓国側の受け止め方は、国会議長、国会議員、ソウル特別市々長その他各界代表の列席、国レベルでの式典である。

両国々歌斉唱、両国役員紹介、姉妹結縁調印。両国の親善、文化交流に尽力された上田会長、小池副会長、中井先生、望月美佐、佐藤廉、中西勝氏に功労賞の授与。九十八才、老いて益々盛んな中井先生御発声で万歳三唱、セレモニーの幕は閉じる。

近くて遠い国といわれているが、文化交流を通して両国を理解し、過去の不幸な関係を乗り越えて親善の輪の広げて行かねばならぬことを痛感する。

大邱へ、慶尚北道々庁訪問、同知事主催の晩餐会、慶州市庁では日曜日にもかかわらず市長始め各局長様の歓迎を受ける。仏國寺、天馬塚、博物館を見学。仏國寺前庭の多宝塔は同寺建立時のもので、木造と見まちがう程の造形美。天馬塚のある大陵苑のゴミ一つ落ちていない整備と管理の良さに驚き、博物館にあるエミレ鐘の素晴らしさ、風化した石仏群の美しさに感動、飛鳥のルーツを見た思いでした。

今回の旅でお世話になった韓国の方々、表面的なものでなく、心を込めて接して下さいました。心に熱いものが芽生えました。これからはその芽を大きく育てましょう。「有難うございました」を後に、全員元気で釜山より帰国。

△筆者紹介△

一九三六 滋賀県大津市に生まれる。
一九五九 京都市立美術大学西洋画科卒業
一九五九 〇八三 神戸/大阪/京都/大津/東京にて開展・グループ展
約30回開催 一九八四 グループ「東京11神戸」結成
第一回展・新宿文化センター(東京)/ギャラリーエンバ(神戸)など
神戸市東灘区在住。